

科目名	物質工学ゼミナールⅡ	英語科目名	Seminar Ⅱ	
開講年度・学期	平成28年度前期	対象学科・専攻・学年	専攻科物質工学コース2年	
授業形態	演習	必修 or 選択	選択	
単位数	1単位	単位種類	学修単位（演習）	
担当教員	原則として特別研究の指導教員	居室（もしくは所属）	電気・物質棟3,4階, 物質工学実験棟1階, 専攻科棟4階	
電話		E-mail	指導教員@小山高専ドメイン名	
授業の到達目標		授業の到達目標との対応		
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標（JABEE）	JABEE 基準
1. 速報, 原著論文, 総説, アブストラクト等の区別ができ、その役割を説明出来ること。		③	A	d-1
2. 専門語彙を300語以上増やすこと。		③	A	d-1
3. 主語, 述語, 目的語, 補語の区別、および品詞の区別がつくこと。		③	A	d-1
4. 英和辞典を自分で引いて、発音記号から正確な発音ができること。		③	A	d-1
5. 現在(present), 過去(past), 未来(future)の時制(tense)を区別できること。		③	A	d-1
6. 論理的な日本語訳ができること。		③	A	d-1
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標1～6：スクールワーク（音読、翻訳、意味の説明）70%, ホームワーク（予習復習のノートの内容）30%において6割以上の得点により達成とする。				
評価方法				
内容に対する理解度または運用能力が60%以上の成績で達成とする。				
授業内容		授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
指導教官のもとで選定した特定分野やテーマに関する外国語文献の音読、翻訳を行い、その内容を説明させる。 1, 受講した学生が割り当てられたパラグラフ毎、あるいはセンテンス毎に音読、翻訳を行い、その内容を説明する。 2, 学生が行った音読、翻訳の誤りを担当教員が訂正し、内容を分かりやすく講義する。 3, 読んだ英文に関連した専門の内容について担当教員と議論する。 授業：各自の分担の箇所を音読、翻訳し、意味を説明する。他者の音読、翻訳、説明にも耳を傾け、自分が予習してきた内容と比較する。教官の説明によって自分の誤りを訂正し、疑問点があれば教官に質問する。		予習： 少なくとも次回の授業で進むと考えられる範囲を3回以上音読し、分からない単語の意味とその発音記号を単語ノートに記録する。日本語訳をノートに書き、論理的な文章になるまで手直しする。 復習： 授業での内容を反復学習し、新しく学習した専門用語を記憶する。授業で進んだ部分の音読を少なくとも3回行う。		
		自学自習時間合計		15
キーワード	英語、専門用語、音読、読解			
教科書	各担当教官が選択			
参考書	中村喜一郎、青柳忠克著「やさしい化学英語」オーム社(1989)、湊宏著「化学英語」東京化学同人(1978)、千原秀昭ら「化学英語の活用辞典」化学同人(1987)、玉虫伶太ら著「エッセンシャル化学辞典」東京化学同人(1999)			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目		化学英語, ゼミナールⅠ, 応用英語Ⅰ, Ⅱ		
現学年の関連科目		ゼミナールⅢ		
次年度以降の関連科目		なし		
連絡事項				
理解が困難な場合は、その都度相談に応じる。予習・復習は確実に行うこと。				
シラバス作成年月日	平成28年2月18日			